

どうかの確認をおこない、もし体重を少なめに推定していた場合には、追加の麻酔薬をクマに注射することになる。その後、体の様々な部位の計測（身体測定）をおこなう。また、人間の体脂肪計と同じ原理で、体に弱い電気を流してクマの体脂肪率も測定する。さらに、前臼歯と呼ばれる、クマが日常の生活ではあまり使わない歯を一本抜く。これは、歯の根元の部分を、特殊な処理をして顕微鏡で観察すると、クマの年齢がわかるからだ。さらに、体毛と血液を採取する。じつは、体毛でクマの食べ物がある程度推定することができるのだ（詳細は次章）。また、血液からはその個体の遺伝子情報のほか、栄養に関する情報や繁殖の有無などの情報も得ることができる。

捕まえられ、怖い目にあわされ、眠らされ、いろいろ採取されるのは、クマにとってはたいそう迷惑だとは思いますが、これらのサンプルからは、ふつうに観察しているだけでは得られない様々な情報が得られるのだ。そして、最後にクマに個体識別をするためのマイクロチップを耳の後ろの皮膚の下に挿入し、追跡調査用の首輪型のGPS受信機を装着し、作業は終了である。これらの作業をクマが眠っている約一時間でおこなうためには、作業に慣れた人々によるきわめて高度なチームプレイが要求される。



捕獲したクマの情報を集める

【右上から下へ】

体重の測定
体長の測定
体脂肪の測定

【左上から下へ】

前臼歯の抜歯
血液を採取する筆者